

実施事業の成果とその評価

厳しい評価になると考える

【答】 大西町長



おなが まさひろ 議員 小永 正裕

問 町政振興への取り組みは、人口減少対策としても重要と思える。町長に就任して主に町政振興、少子化対策の中で、重要な施策はどのようなもので、成果はどう評価するか。

次に、現在取り組み中の事業の状況と見通しについては、どのような判断をするか。

3つ目に、三セクの缶詰製作所が高規格道路の法線にかかるが、今後の工場と操業に關しての考えを問う。

4つ目は、新たに始める施策があれば、内容を問う。

これまで重点的に取り組んできた対策の1点目は防災対策の充実。2点目は高齢者福祉施策の充実。3点目は産業振興で雇用の創出。4点目は生る力を育む教育の充実。5点目は社会資本整備の推進、6点目は地域支援施策の充実。また農業分野では、平成22年度から新規就農者研修事業に取り組み、それに成年給付金事業も追加し、更に農業公社を設立して研修事業を充実してきた。結果、この事業はすべて平成22年から27年度までだが、15名の方が現在、就農している。

今度の創生総合戦略に基づき人口ビジョンは、自分たちで公表した数字だ。社人研の想定だと、2060年、何もう手を打たなければ4千人を切る。政策の上積みをして68

00人という政策目標、人口目標を掲げた。

第三セクターの缶詰製作所は、経営単体の経営収支を整えるのに精一杯だが、目標は第三セクターが利益を出して、儲けて良かったというような会社にするつもりはない。今も販路拡大に努力しているが、将来的に経営が安定した際に、地産外商で、その開拓した販路に乗せて、黒潮町内の商品を売る。これを有効に機能させると、第三セクター、あるいは先様とつながった町内の製造業者の関係は継続する。これらの事業の評価については、今回の総合戦略ではKPIを設定し、すべて定量的に評価されるが、厳しい評価をされると考える。

問 KPI(※)を定める前に、KGI(※)が先にあるはずだ。例えば人口で言えば、KGIが6800人だが、ほかの取り組みも色々あり、それぞれのKGIを先に設定して、その後KPIを考える必要がある。その数値化の設定が難し

い。手の届かないような目標や目的設定では、うまくいかない場合がある。平成31年度に継続できる企業に育つのか。また、優良な企業誘致の件も充分に考慮すべきでは。

※KPI…重要業績評価指標
※KGI…重要目標達成指標

【答】 大西町長

平成29年度も人口減少対策に努める。新たな施策として、

雇用の創出では農業公社をさらに強化。林業振興施策では、森林組合を通じた町内の雇用拡大を図る。商工業のほうは、新たに中小企業者等支援補助事業を行う。若い世代の結婚、妊娠、出産、子育ての希望を叶える点では、地域交流の維持、活性化施策として、出会いの場となる婚活イベント出会う創出事業、その他を開催する。



祝福される新婚カップル